

## デュアルディグリー・プログラム よくある質問

### 【2027年度派遣】

デュアルディグリー・プログラム（以下、DDP）についてよく寄せられる質問をまとめました。今後も随時更新し、お知らせする予定ですが、この他に質問がある方は経営学部事務室 ([sba@meiji.ac.jp](mailto:sba@meiji.ac.jp)) までお寄せください。

#### ■DDP への申請要件について

Q1：入学要件で必修となっている科目（ミクロ経済学、数学、統計学、英語）の評価について、1科目でも「C」以下であった場合、その時点で申請資格を失うのですか。

A1：すべての科目において「B」以上の評価が必要です。ただし、「数学」及び「英語」については、一度「B」以上を修得できなくても、履修の手引きに記載されている他の科目を履修して「B」を修得し要件を満たすことが可能ですので、何度かチャレンジする機会があります。

Q2：「ヴィクトリア大学（以下、UVic）入学時点で直近の24単位の評価の平均がB以上取得見込みで、かつ全体の評価の平均がB以上であること」という要件について、どの24単位を算出対象とするか選択して出願することは可能ですか。

A2：選択できません。UVicには修得した全ての成績を提出し、それをもとに審査が行われます。また、出願時（2年次秋学期終了時点）の要件となっている直近60単位についても同様です。

Q3：UVicにおける入学審査はどのように行われるのですか？

A3：審査は、明治大学経営学部（以下、SBA）での成績、英語能力証明書、UVic指定のアプリケーションフォーム（[Education Planner BC Website](#)）に記入した内容をもとに行われます。

Q4：応募期限までに英語要件があと少しのところを満たせませんでした。その場合、応募は受け付けていただけないのでしょうか？

A4：募集要項に記載のとおり、DDP 応募要件の英語要件を満たせていなくても学内応募を認める英語要件を設定しています。ただし、総合・各セクションについてすべてのスコア要件を満たしたスコアレポートを、1月31日を最終期限としてヴィクトリア大学へ直送する必要があります。（日程上、12月末までに受験し直送手続きを行う必要があります。）

TOEFL-iBT や IELTS のスコア要件を、一度の受験で達成することは難しいので、2～3回の受験で達成することとして計画を立ててください。1年次から準備をすることが大切です。できれば、1年次の春休みに、遅くとも2年次の夏休み前までに一度は受験をし、その結果をふまえ、足りないスコアを伸ばせるよう夏休み中にしっかりと試験対策をしてください。秋学期が始まると夏休み中のように十分な時間がとれなくなるため、9月中にスコア要件を達成する事を目標としてください。もし達成できなかった場合でも、10月中にはスコアを獲得するよう努めてください。なお、最終期限までに英語要件が満たせなかった場合でも、一定レベルの英語要件を満たしていれば、ヴィクトリア大学の University Admission Preparation (UAP)に参加し、80%以上の成績を収め

ることで、DDPに参加資格が得られます。詳細は、学部推薦審査通過者にお知らせします。

Q5：TOEFL iBT「MyBest scores」を使用して出願はできますか？

A5：MyBest scores を使用しての出願はできません。

Q6：TOEFL iBT「Home Edition」／IELTS「Indicator」を使用しての出願はできますか？

A6：自宅受験が可能な上記方式での出願が認められています。

Q7：DDP と学部間又は大学間協定留学及びトップユニバーシティ・プログラムに複数応募することはできますか。

A7：複数のプログラムに応募することは可能です。ただし、デュアルディグリー・プログラムの学部推薦が決定した時点で、学部間又は大学間協定留学及びトップユニバーシティ・プログラム留学と同時並行で選考に進むことはできません。複数のプログラムに応募していた場合、DDPの学部推薦を辞退するか、学部間又は大学間協定留学及びトップユニバーシティ・プログラム留学の応募を取り止めるか、いずれかを選択する必要があります。

Q8：入学要件で必修となっている科目（ミクロ経済学、数学、統計学、英語）が、他の必修科目等と重複しており、履修できません。どうしたらよいでしょうか。

A8：1年次に履修できない場合、2年次に必ず履修してください。2年次に他の必修科目等と重複して履修できない場合、履修登録／履修修正期間中に経営学部事務室へご相談ください。

Q9：通常であれば2年次に応募して3年次からデュアルディグリー・プログラムに参加することとなるかと思いますが、3年次に応募して4年次からデュアルディグリー・プログラムに参加することも可能ですか？

A9：応募要件を満たしていれば、可能です。ただし、デュアルディグリー・プログラムに参加している期間中、明治大学・ヴィクトリア大学の双方に授業料を支払う必要があることから、通常通り参加する場合と比べて、1年間分多く明治大学に授業料を支払う必要があるということとなりますので、その点をよく承知した上で、ご応募ください。

#### ■UVicでの授業科目の履修について

Q1：Co-op（有償インターンシップ）に参加するために必要な準備はありますか。

A1：Introduction to Professional Practice（COM204）を受講します。通常UVic 2年次に受講するコースですが、DDP参加者はCo-op開始前に受講します。cover letterの書き方等、Co-opに必要とされる能力を身に付けるためのものです。

Q2：UVicの5学期目以降にUVicにおける交換留学を希望する場合、どの学期に実施するか選択することは可能ですか。

A2：可能です。5学期目以降は、Specialization（専門領域）の2学期分のうち1学期分をUVic

の協定校（40ヶ国80以上の協定大学から選択）で行うことができ、UVicの協定校である明治大学に戻ってきて履修することも可能です。

Q3：UVic在学中の履修スケジュールが曖昧です。在学中どのような履修を行うことになるのでしょうか。

A3：UVicにおける履修は、学生の専門分野や希望に応じて順序が異なる場合がありますが、フレキシブルに設定が可能です。プログラムの主なポイントは以下のとおりです。

(1) 1学期目（2027年秋学期）：上級レベルの非ビジネス科目のうち、前提条件（履修要件）が不要なものを5科目履修します。うち1科目は必修のAWR科目（アカデミック・ライティング）を履修することが推奨されています。

(2) 2学期目～3学期目（2028年春学期～秋学期）：この期間はCohort制（同一集団で履修する形式）の必修科目が設定されており、合計10科目履修します。

(3) 4学期目（2029年春学期）：上級選択科目を履修します。これには、次の学期で学ぶ専門分野に必要となる科目が含まれる場合があります。

(4) 5学期目～（2029年秋学期～）：以下の4つの専門分野の中から選んで履修します。

- ① Entrepreneurship & Innovation
- ② Service Design, Marketing and Management
- ③ Financial Management (either Accounting or Finance stream)
- ④ Artificial Intelligence & Technology Management

なお、UVicの海外協定校への交換留学も選択肢として用意されています。

(5) 就業体験（有償インターンシップ）について：在学中、有償での就業体験を1回以上行う必要があります。より多様な業界での経験を得るため、2回の実験が推奨されています。

さらに3回目の就業体験を行うことで、学位証に「Co-op 修了」の記載を付けることが可能です。

※就業体験は通常、在学中の夏学期（5月～8月）に行いますが、専門分野により時期が異なる場合があります。

#### ■プログラム期間中の経費について

Q1：UVic在学中の期間における明治大学の授業料の取扱いについて教えてください。

A1：この期間は、UVicと明治大学の双方に授業料を支払う必要があります。

Q2：明治大学で申請可能な留学経費の助成金はありますか。

A2：「明治大学海外留学奨励助成金」への申請が可能です※。留学期間中、本学に在籍していることを条件に助成金が支給されます。また、留学期間中は毎年度申請が必要です。

**※在留資格「留学」の学生は、2027年度から本助成金の対象外となります。**

最新の情報は下記リンクより確認ください。

<https://www.meiji.ac.jp/cip/financial/jyosei.html>

助成金に関する問合せ先：国際連携事務室（駿河台） Tel: 03-3296-4487 Email: kokusaik@meiji.ac.jp

以上